

# 蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成20年8月  
和歌山県立和歌山西高等学校

## 図書部 文学散歩 7月24日(木)

「文学散歩」は、図書部の恒例活動の一つで、今年度は「ハーベストの丘」にて、ガラスの器に模様をつけるサトプラスト体験やドクターフィッシュとのふれあい体験をした。18名の生徒が参加し、サトプラスト体験では、それぞれ個性的な模様をつけて工夫し楽しく作業していた。

〔サトプラスト作業の様子〕



## 地区懇談会 7月26日(土)

本校図書館にて、地区懇談会が行われた。教師から、自己紹介を兼ね学校の様子等が報告され、また保護者からは、主に子育てにかかわる様々な相談が持ちかけられた。この会を通して教師は保護者の思いに理解を深め、また、保護者には教師の取り組み、学校運営を知ってもらい、互いに意思疎通を図る非常に重要な行事である。保護者、教師が足並みを揃えて、よりよい西高教育につなげていきたいところである。

〔PTA 菅原会長のあいさつ〕



## なぎなた部、紀伊コエ支援学校へ 7月26日(土)

この日は、紀伊コエ支援学校の夏祭りで、西高なぎなた部に演舞の依頼を受け、5人のなぎなた部員が日頃の練習の成果を発表した。前日もリハールのため、紀伊コエ支援学校に集まり、暑さに負けず一生懸命練習を行っていた。また、本番のときも演舞を終えたときは滝のような汗であったが、生徒達や保護者の皆さんからたくさんの拍手をいただき、部員達もやりがいを感じたことと思う。

## 県生連夏期ゼミ 7月28日(月)~29日(火)

県生徒会連絡協議会夏期ゼミが勝浦で開催され、生徒会長の岩橋君と副会長の廣瀬君が参加した。初日は、全体会の後、熊野古道を那智の滝まで歩き、熊野の歴史を学んだ。また、他校の生徒たちと交流を深め、それぞれの生徒会活動について情報交換も行われた。

〔全体会の様子〕



〔熊野古道〕



〔那智の滝〕

## 人権・平和学習(登校日) 8月7日(木)

本校では、毎年夏休みの登校日は、人権・平和学習として、講演や映画鑑賞会を行っている。今年度は、市民会館にてアニメ映画「ひめゆりの塔」を上映した。生徒たちも思わず映画に見入っていた様子だった。戦争は悲しみしか生まないこと、いかに平和が大切なのか、今の時代がいかにありがたいものかということをおぼろげに感じ取ってくれたのではないかなと思う。

〔会場の様子〕

〔上映映画〕



## 保護者就職説明会 8月18日(月)

保護者向けの就職説明会が行われ、尾崎進路指導部長より、4月からの本校での進路指導の取り組み、昨年度の就職状況、今年度の求人状況、企業が求める人材等について説明された。今年度は昨年度より求人が少なく、生徒の就職意識のさらなる向上が必要とされる。

〔進路指導部長の説明〕



〔説明を聞く保護者の皆さん〕

## 防災スクール 8月19日(火)

様々な災害に備えて防災意識を高め、災害時に貢献できる高校生の育成を目的とし、県教育委員会では「防災スクール」を実施している。和歌山市会場は星林高校で本校からは9名の生徒が参加、また、西高養護教諭2名が指導者として出席した。午前は、地震に関する講演、午後からは普通救命講習(心肺蘇生法、AED使用法)が行われた。本校の生徒たちは普通救命講習を今年の春に校内で受けてあったので、より身に付いたことと思う。近い将来、東南海地震・南海地震の発生が予想される今、生徒のみならず県民全体が防災意識を高めていかなければならないといえる。